

平成29年9月25日

議員各位

産業厚生常任委員会
委員長 西岡克之

委員長報告書

産業厚生常任委員会に付託された議案等の審査結果について、会議規則第41条の規定により報告いたします。

1.審査期間：平成29年9月11日～13日

2.付託された議案等

議案番号	件名	結果
52	長与町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 可決
55	平成29年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
56	平成29年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
57	平成29年度長与町介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
58	平成29年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
59	平成29年度長与町水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
60	平成29年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
63	平成28年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定
64	平成28年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定

議案番号	件名	結果
65	平成28年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定
66	平成28年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定
67	平成28年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	全会一致 可決 認定
68	平成28年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	全会一致 可決 認定

議案第52号 長与町福祉医療の支給に関する条例の一部を改正する条例

審査日	平成29年	9月11日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	森川住民福祉部長	村田こども政策課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

子育て世代の経済的援助を図るため、福祉医療費の支給対象を中学生までの入院費について拡大するとともに、母子及び寡婦福祉法及び児童扶養手当法施行令の一部改正に伴う条文の整備と所要の改正を行うもの。

対象拡大の部分については、平成29年10月1日から施行する。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 今回、入院に限って中学卒業まで拡大した経緯は。

答弁 対象拡大に向け検討してきたが、一定の目途がついたため。

質疑 施行日が10月1日となった理由はなぜか。

答弁 予算議決後、システム改修に1か月ほど時間を要することと、近隣市町とも足並みを揃えたことによる。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第55号 長与町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

審査日	平成29年	9月13日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	中山健康保険部長	志田健康保険課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

歳入歳出それぞれ363万8千円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ48億5407万3千円とするもの。

内容は30年度から実施される国保都道府県化に伴うシステム改修費として国庫補助金32万4千円の増額計上、県補助金である特別調整交付金52万9千円は平成30年度から実施予定の健康ポイント制度にかかる消耗品費等の増額計上、28年度決算に伴う繰越金278万5千円の増額計上。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 健康ポイント制度について内容はどうか。

答弁 健康づくりを目的に、対象者20歳以上、基本的に歩くことによってポイントをためて健康へのインセンティブを獲得してもらう制度で、今後詳細を詰めていく。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第56号 平成29年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

審査日	平成29年	9月13日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	中山健康保険部長	志田健康保険課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ63万5千円を追加し、補正後の予算総額を4億6548万3千円とするもので、平成28年度決算に伴う繰越額の確定と広域連合納付金の確定によるもの

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 歳出の広域連合納付金はこの時期に確定するのか。

答弁 29年の4、5月に入金された保険料は一度町に入金されて、29年度の予算に繰越をしたのちに29年度予算で広域連合に納付するようになる。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第57号 平成29年度長与町介護保険特別会計補正予算（第1号）

審査日	平成29年	9月11日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	中山健康保険部長	辻田介護保険課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

既定の保険事業勘定歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1953万4千円を追加し、補正後の予算総額をそれぞれ33億6937万8千円、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算にそれぞれ1285万円を追加して、補正後の総額を3658万8千円とするもの。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 認知症初期集中支援チーム検討委員会の立ち上げにかかる準備委員会の予算を計上しているが、メンバー構成と支援チームの役割は。

答弁 メンバーは医師会、ケアマネ、介護事業所、民生委員、保健所関係で7名を予定している。役割としては、地域で認知症、あるいは認知症の疑いがある方のサポートをチームで総合的に行うことを想定している。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第58号 平成29年度長崎都市計画整理事業 長与町土地区画整理事業
特別会計補正予算(第1号)

審査日	平成29年	9月11日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	緒方建設産業部長	松邨建設産業部理事	その他関係職員		

【提案理由の概要】

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ333万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億3756万8千円とするもので、平成28年度決算に伴う繰越金333万2千円を全額県事業委託料として計上するもの。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 一般会計に戻さずに繰り越した理由は。

解答 保留地処分金については一般会計に戻しているが、事業費についてはそのまま翌年度に繰り越して事業の進捗を図っている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第59号 平成29年度長与町水道事業会計補正予算（第1号）

審査日	平成29年	9月12日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	濱水道局長	山口水道課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

債務負担行為として、長与町浄水場運転管理業務委託及び長与川流量観測業務委託の2件を追加するもの。浄水場運転管理業務については、契約方法の変更を含め3年契約に見直すもので、期間は平成30年度から平成32年度までの3年間、限度額は3億6千万円を予定。

長与川流量観測業務委託については、長与川の年間を通じた流量を観測し、今後の水利権増量可能性を判断するために実施するもので、期間は平成30年度まで、限度額は800万円を予定。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 今回見直しによる限度額が現行より高くなっているのはなぜか。

答弁 労務単価が据え置かれ、これまでが低く抑えられていた、積算基準に基づいた労務単価の採用により、積算上高くなっている。

質疑 ほかにメリットは、

答弁 業務全体の見直しと3年契約にすることにより、長期的視野で業務の効率化ができると考えている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第60号 平成29年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）

審査日	平成29年	9月12日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	濱水道局長	山崎下水道課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

現行の債務負担行為に長与浄化センター維持管理委託を追加するもので、契約方法の変更を含め3年契約に見直すもの。期間は平成30年度から平成32年度までの3年間で、限度額は5億8502万7千円を予定。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 浄化センター維持管理委託の見直しについて、業者選定はどのようにするのか。

答弁 予算決定次第に公募の形をとりながら、様々な可能性を模索する。

質疑 総合評価方式など取り入れた形を考えているのか。

答弁 技術評価の提案なども取り入れた形での公募型プロポーザル方式も考えている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第63号 平成28年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

審査日	平成29年	9月13日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	中山健康保険部長	志田健康保険課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

歳入では、調定額49億2946万740円に対し、収入済額47億866万2754円。不能欠損額は784万3688円、収入未済額は2億1296万4298円で、収入済額は、前年度比3, 2%の減。
歳出では、予算現額48億9944万2千円に対し、支出済額47億572万6207円、不用額は1億9371万5793円で、支出済額は前年度比5, 3%の減。
実質収支額は239万6千円で、基金繰入額は15万円。

以上の説明があった。

【主な質疑】

- 質疑 28年度保険税が上がったが、どのくらい見込んで実際どうだったのか。
答弁 6000万円ほど見込んでいたが、実際は約5600万円ぐらいだった。
質疑 保険税の値上げで支払い困難の方が増えたのではないか。
答弁 保険税の収納率は28年度のほうが若干向上している。
質疑 レセプト点検委託料が減額となった訳は。
答弁 委託先の変更によるものである。
質疑 コンビニ収納の推移はどうか。
答弁 平成27年度は8219件 平成28年度は1万587件となっている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決した。

議案第64号 平成28年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

審査日	平成29年	9月13日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	中山健康保険部長	志田健康保険課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

後期高齢者医療保険料は、
調定額3億6174万1800円に対し、収入済額3億6023万2千円で、
不能決損額は31万9千円、収入未済額は119万800円。
他、主な歳入として繰入金8,222万2396円で、
収入済額の合計は4億4,452万9,598円、前年度比4,0%の増。
歳出の主なものは、後期高齢者広域連合納付金 4億4113万5785円で、
予算額 4億5052万4千円に対し、支出済額 4億4389万3196円で、
不用額は、663万804円となっており、支出済額は前年度比4,4%の増、
実質収支額は、63万6千円。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 保険料で、特別徴収と普通徴収の割合はどれくらいか。
答弁 特別徴収が、61,9% 普通徴収が、38,1%となっている。
質疑 保険安定基盤の軽減対象件数はどれ位か。
答弁 軽減対象者は2,579名となっている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決した。

議案第65号 平成28年度長与町介護保険特別会計歳入歳出の決算の認定について

審査日	平成29年 9月11日
出席委員	西岡克之 饗庭敦子 安部 都 安藤克彦 河野龍二 吉岡清彦 竹中 悟
説明員	中山健康保険部長 辻田介護保険課長 その他関係職員

【提案理由の概要】

保険事業勘定の歳入では、調定額 28億7968万3401円に対し、収入済額28億6769万4401円となり、不能欠損額36万5200円で、収入未済額は1162万3800円、収入済額は前年度比4.1%の増。歳出の支出総額は24億8164万8659円で、前年度比0.5%の減。介護サービス事業勘定では、歳入合計3491万4888円で、前年度比7.8%の増、歳出合計は2206万3020円で6.6%の増。実質収支額は、保険事業勘定で3億8604万5千円、介護サービス事業勘定で1285万1千円。

以上の説明があった。

【主な質疑】

- 質疑 保険料の滞納について時効は2年だと思うが、どのように対応しているか。
- 答弁 過年度分が未納の場合、介護保険利用時の給付制限を行う可能性があり、本人に不利益となる可能性があることから、不能欠損以外は引き続き納付のお願いをしている。
- 質疑 介護予防で様々な事業をしているが、成果についてはどう手ごたえを感じているか。
- 答弁 本町に行政視察に来られた方からは、長与町の介護予防事業は進んでいるとの言葉をいただいている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決した。

議案第66号 平成28年度長崎県都市計画事業 長与町土地区画整理事業
特別会計歳入歳出決算の認定について

審査日	平成29年 9月11日
出席委員	西岡克之 饗庭敦子 安部 都 安藤克彦 河野龍二 吉岡清彦 竹中 悟
説明員	緒方建設産業部長 松邨建設産業部理事 その他関係職員

【提案理由の概要】

国庫支出金、県支出金、一般会計繰入金などで、歳入合計7億9791万7160円、収入未済額は4億5592万6千円。

歳出は、県事業委託費6億4438万3千円などで、歳出合計7億9258万4821円、繰越明許による翌年度繰越額は4億5592万6千円で、実質収支は533万2千円。県事業委託による本工事5件、測量試験費10件、移転補償1件。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 長与駅付近の工事が本特別会計にあるのはなぜか。

答弁 長与駅周辺区画整理事業に起因する工事なので、同会計で処理した。

質疑 PFI導入についてはどうか。

答弁 PFIについては導入可能性調査を実施している。その調査結果と実施計画の見直し等を踏まえ、早ければ今年度住民説明会を開催できるようにしたい。

質疑 民間活力の可能性は考えられるのか。

答弁 所管としては、十分可能性があるのではないかと考えている。

質疑 総務費の付帯工事はどんな内容か。

答弁 区画整理事業外の草刈等維持管理的な工事を行っている。

質疑 進捗率27年度から28年度は宅地52.4が53.5、道路56.2が56.8とあまり進んでいないがどうか。

答弁 工事の内容でも進捗率が違う、山切などの土工事では宅地、道路の進捗率は伸びない。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決した。

議案第67号 平成28年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について

審査日	平成29年	9月12日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	濱水道局長	山口水道課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

収益的収入および支出の収入では、予算額7億8110万7千円に対して、決算額7億9765万9675円で、1655万2675円の増収。
支出では、予算額6億8876万円9千円に対し、決算額は6億6203万1375円。
資本的収入および支出の収入では、予算額2141万2千円に対して、決算額は2853万8千円で、712万6千円の増収。
支出では、予算額4億5246万1千円に対し、決算額は4億3651万1425円。
結果、当年度純利益は1億1647万3911円となり、当年度末処分利益剰余金は2億6788万1622円。

以上の説明があった。

【主な質疑】

- 質疑 配水管は耐用年数内に交換しているのか。
答弁 耐用年数が過ぎても使えるものは、使っている。
質疑 修繕費が多くなっているのはなぜか。
答弁 昨年の大寒波で、水道管の破損等が増加したため。
質疑 地下水と河川の取水現状はどうか。
答弁 長与川からは第1、第2浄水場の2箇所、地下水は16本のボーリングのうち、現在14本を使用している。
質疑 分岐料が増加している訳は。
答弁 ヴューテラス北陽台なども増加の一因と考えている。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、剰余金の処分については全会一致で可決、決算認定についても全会一致で認定すべきものと決した。

議案第68号 平成28年度長与町下水道事業剰余の処分及び決算認定について

審査日	平成29年	9月12日			
出席委員	西岡克之	饗庭敦子	安部 都	安藤克彦	河野龍二
	吉岡清彦	竹中 悟			
説明員	濱水道局長	山崎下水道課長	その他関係職員		

【提案理由の概要】

収益的収入および支出の収入では、予算額10億3190万5千円に対して、決算額10億6159万5576円で 2969万576円の増収。
支出では、予算額9億8618万円9千円に対し、決算額は9億3236万7331円。
資本的収入および支出の収入では、予算額1億2449万1千円に対して、決算額は1億2880万7683円で、431万6683千円の増収。
支出では、予算額4億3798万8千円に対し、決算額は4億478万4243円。
結果、当年度純利益は1億2014万2272円となり、当年度末処分利益剰余金は3億4978万7191円。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑 営業費用の不要額について、人件費の減が主な要因との説明だったが内容は。

答弁 27年度より人員が1名減ったこと、年齢構成が若返ったこと、産休職員が1名いたことが主な要因だ。

質疑 水洗化率98.8%とかなり普及しているが、今後残りの水洗化にはどう取り組むのか。

答弁 現在、125戸、187世帯が未水洗化となっている。経済的な理由によるものが多く劇的に改善が進むとは言えないが、利子補給制度の普及やお願い文書の配布等、地道に取り組んでいきたい。

主な質疑は以上のとおり。

慎重に審査した結果、剰余金の処分については全会一致で可決、決算認定についても全会一致で認定すべきものと決した。